①　提出期間　平成25年10月21日（月）から平成25年11月21日（木）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時まで。
②　提出方法　上記⑴に郵送すること。なお、郵送方法は、電子入札（郵送入札）運用マニュアル８－３による。
③　申請書及び技術評価資料の確認　申請書及び技術評価資料の提出にあたって、内容確認を行わないため、記載漏れ、記載ミス又は、必要書類の不足等があった場合は、競争参加資格を認めない場合があることから、十分に注意すること。
⑷　開札（入札執行）の日時及び場所
①　電子入札による入札の締め切り　平成26年１月30日（木）午後４時00分
②　郵送による入札書の提出期限（紙入札参加の届出を行った場合、書留郵便に限る）　平成26年１月30日（木）午後４時00分
③　開札日時　平成26年１月31日（金）午後１時30分
④　開札場所　上記⑴の中日本高速道路株式会社　名古屋支社　８階入札室

6　その他
⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金
①　入札保証金　免除。
②　契約保証金　納付。
ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は、履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。
⑶　入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者の行った入札、申請書等に虚偽の記載をした者の行った入札及び入札に関する条件に違反した者の行った入札は無効とする。
また、入札時に工事費内訳書の提出のない者の行った入札は無効とする。なお、提出された工事費内訳書を審査した結果、真摯な見積を行っていないと認められたときは、その者の行った入札を無効とする場合がある。
なお、無効の入札を行った者を落札者としていた場合は落札決定を取り消すものとする。
⑷　落札者の決定方法　落札者となるべき者の決定方法は、契約制限価格の範囲内の入札額で最も総合評価点が高い者を落札予定者とし、その者が提出した工事費内訳書を審査のうえ妥当な場合に落札者とする。
ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、または、その者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、落札者としないものとする。
⑸　落札決定の取消し等　申請書に虚偽を記述した者は、当該工事の競争参加資格の確認を取消すとともに、「中日本高速道路株式会社工事・調査等の資格登録に関する要領」に基づく資格登録停止を行うことがある。
また、入札者の故意又は重大な過失により入札書が無効となった場合は、当該入札者に対し、資格登録停止を行うことがある。
⑹　配置予定監理技術者の確認　落札者決定後、ＣＯＲＩＮＳ等により配置予定の技術者の専任制違反の事実が確認された場合は、契約を結ばないことがある。
なお、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合のほかは、技術資料の記載内容の変更は認められない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、上記２⑸に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上であると発注者が承認した者を配置しなければならない。
⑺　低入札価格調査を受けた者との契約については、契約保証金の額を請負代金額の10分の３以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の２以内とする。
なお、本措置は工事が進捗した場合の部分払の請求を妨げるものではない。
⑻　専任の主任（監理）技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、主任（監理）技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある（入札説明書参照）。
⑼　申請書等の作成及び提出に要する費用は原則として提出者の負担とする。
⑽　提出された申請書等は、原則として返却しない。
⑾　手続における交渉の有無　無。
⑿　契約書作成の要否　要。
⒀　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と特命契約により締結する予定の有無　無。
⒁　関連情報を入手するための照会窓口・手続に関する問い合わせ先は、上記５⑴に同じ。
⒂　競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる競争参加資格の認定を受けていない者も上記５⑶により申請書等を提出することができるが、入札に参加するためには、競争参加資格確認結果通知の日までに、当該資格の認定を受けていなければならない。
⒃　詳細は入札説明書による。

7　Summary
⑴　Official in charge of the contract of the procuring entity : Mutsuo Ota, Director General of Nagoya Branch, Central Nippon Expressway Company Limited
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Shin Tomei Expressway from Hamamatsuinasa junction to Kannonyama tunnel Variable message signboard Facilities
⑷　Due date for the submission of application forms and relevant documents for the-qualification : 4 : 00 P.M. 21 November 2013
⑸　Due date for the submission of tenders by electronic bidding system : 4 : 00 P.M. 30 January 2014. (Tenders submitted by registered mail, 4 : 00 P.M. 30 January 2014)
⑹　The language used for application and inquiry shall be Japanese
⑺　Contact point for tender documentation : Contract team, General Affairs and Corporate Strategy Department. Nagoya Branch, Central Nippon Expressway Company Limited 2―18―19, Nishiki, Naka-ku, Nagoya-City, 460―0003, Japan Tel. 052―222―1447

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成 25 年 10 月 21 日
契約責任者
西日本高速道路株式会社
四国支社　支社長　畑村　雄二
◎調達機関番号　419　◎所在地番号　37

○第 10 号

1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　高松自動車道　大坂トンネル南工事（電子入札対象）
⑶　工事場所
自）徳島県鳴門市大麻町萩原
至）徳島県鳴門市大麻町萩原
自）徳島県板野郡板野町大坂
至）徳島県板野郡板野町大坂
⑷　工事内容　本工事は、切盛土工及び橋梁下部工を含むトンネル工を主体とした工事である。
⑸　工事概算数量

延長	2,149m
土工量	51,000㎥
トンネル	1,181m
橋梁等	橋台　２基
	橋脚　２基
横断構造物	Ｃ－ＢＯＸ　１ケ所

⑹　工期　契約締結日の翌日から900日間
⑺　使用する資機材

コンクリート	15,000㎥
鉄筋	200ｔ
ロックボルト	11,000本
鋼アーチ支保工	900基

⑻　本工事は、「企業の高度な技術力」として入札説明書に参考として示した図面及び仕様書（以下「設計図書」という。）又はそのうちあらかじめ指定する部分（以下「標準案」という。）に係る社会的要請の高い課題についての施工上の工夫、具体的な施工計画その他の提案（以下「技術提案」という。）について記述